

旅立ち

社会福祉法人しらとり会
利用者通信 (NO. 55)
令和元(2019)年11月1日発行

今月は、5名の方からの投稿です。

落語・相の手都々逸

・「マツタケは子供に食わすな」。

(どうして?)

「だって、知らないじゃん。シイタケでいいじゃない」。

・「ハンバーグはピアニストに食わすな」。

「だって、ピアノがひきにくく成るから」。

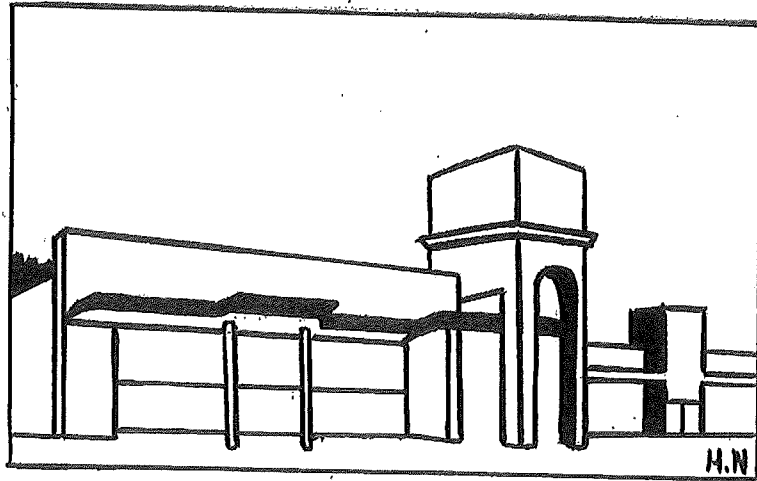
(岡本 祐子)



同志社大学物語 ～大学編～ (その1)

1年の時は日本商業史、経済原論、簿記学Ⅰが必須専門科目で、一般教養は人文科学、社会科学、自然科学からとるようになった。一般教養の単位はどれをとったかは思い出せない。ただとあるテニスサークルに入って、短気で友達に迷惑をかけていたのを覚えている。暴力もあった。そして、バカでかい音でワンルームマンションでかけていて、隣人トラブルを起してしまった。

(Y.Y.)



- 精神科医は頭を下げる事を知らない。
- 頭を下げるのは大学の医学部の上席の教授や、指導医ぐらいである。
- 看護師に頭を下げて、注射の打ち方や包帯の巻き方教わるわけでもなく、バンソーコーすら満足に貼れない。
- 勤務医時代に計画を立てて、クリニックを開業するまでに、せめて注射の打ち方ぐらいマスターし、医療事務や、管理の勉強の為に、医療秘書の資格を最低限取っておくべきである。
- 最初から経営能力は養えないのだから、開業してからやりながら覚えるというほど経営は甘くない。
- クリニックが手本で、ビル診療から抜け切れない。

(加藤忠男)

【投稿の募集】

読んでいただいた方からのご感想をお寄せください。また、利用者の皆様からの投稿をお待ちしています。

次回の締切は、11月15日（金）です。

『旅立ち』編集委員：加藤、本川、A.-Z.、H.A.